

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	北区
学 校 名	大阪市立豊崎本庄小学校
学校長名	西浦 博久

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立豊崎本庄小学校では、第6学年 55名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語科が67%、算数科が60%であった。大阪市平均と比較すると、国語科が1%上回ったが、算数科は2%と下回った。全国平均と比較すると国語科が0.7%、算数科が3.4%下回った。平均無回答率は、国語科が5%、算数科が3.4%であった。大阪市平均と比較すると、国語科が1.7%、算数科が0.2%下回った。全国平均と比較すると国語科が0.8%、算数科が同率となっている。

児童質問紙では、児童の学習意欲に関する項目を見ると、概ねどの項目も、最も肯定的に回答する割合が全国平均より上回っている。また、生活習慣や学習に対する、家庭の意識の高さが読み取れた。学校での授業に関する項目については肯定的に回答する割合が高いものが多くみられ、児童の学習への意識や意欲の高さが分かる結果となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

全国平均と比較して、「A 話すこと・聞くこと」の区分において0.5ポイント、「C 読むこと」の区分において3.8ポイント上回っており、国語科の学習がおおむね習得できている。一方「B 書くこと」の区分において、全国平均を2.4ポイント下回っており、記述式の問題形式での無回答率の多さにも表れている。児童が自分の考えをまとめたり、読み取ったことを要約したりするなど、表現する機会を設け課題解決に取り組んでいる。

〔算数〕

全国平均と比較して、「C 変化と関係」の区分において1.1ポイント上回り、昨年度よりも算数科の学習がおおむね定着していることが分かる。一方「D データの活用」の区分において、全国平均を6.1ポイント下回っており課題がみられる。教科横断的に資料を活用した学習を取り入れるなど、課題解決に取り組んでいる。

質問調査より

「早寝・早起き・朝ごはん」といった、児童が学びに向かうための基本的な生活習慣については、できていると回答する児童の割合が高かった。また、計画的に家庭学習を行い、しっかりと学習時間を取っている児童が多い状況から、落ち着いた環境で生活していることが読み取れた。

学習意欲については、読書や国語の授業などが「好き」と肯定的に答える児童が多く、学習に対する意識や意欲が高いという実態が見られた。

授業については、自分の考えをまとめたり、振り返りを行ったりしながら主体的に取り組んでいるという実態が明らかになった。また、話し合い活動に関する項目について肯定的に回答する割合も高かった。児童が主体的に学習に取り組み、対話を伴った共同的な学習に取り組むことができていることがうかがえる。

学校生活については、全国・大阪府と比較すると、「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」といった項目で最も肯定的な回答が高く、他者を大切にすることで、学校生活を充実して過ごすことができていることがうかがえる。

今後の取組(アクションプラン)

国語科では、資料をもとに自らの考えを表現する場を多く設定したり、文章の要約や構造分析に取り組んだりすることで、児童の「書くこと」に関する資質・能力の向上をめざす。

算数科では、基礎基本となる知識の習得をベースにしつつ、データの活用を中心とした問題

に目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように、授業のデザインを考える。自分の考えを様々な形で表現する場面を設定することで、粘り強く論理的に思考する資質・能力の育成をめざす。

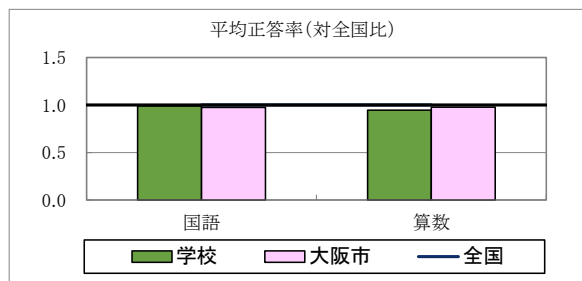
学校全体で、子どもの自己決定を尊重する場の設定を手立てとした、「学ぶ側の論理」を大切にした授業づくりをめざし、研修会や研究討議会を実施して児童の資質・能力を高めることができるよう取組を進めていく。また、学力向上支援チーム事業を活用したり、スクールアドバイザーと連携したりして、若手教員の指導力向上に努める。

学校生活においては、自分や他者を大切にできるよさをこれからも維持しつつ、学習活動の場においては、探究的な学びを中心とした、児童が主体的・協働的に学ぶ場面を確保し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をめざす。

【 全体の概要 】

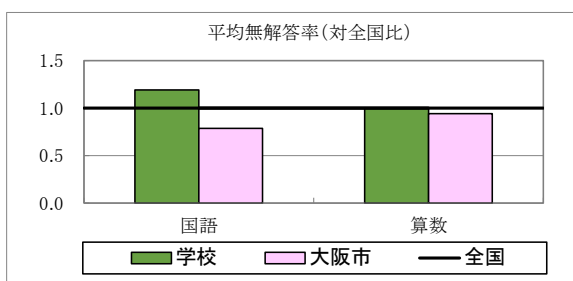
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	60
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	5.0	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



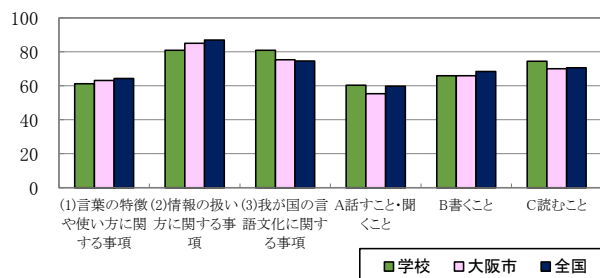
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	61.2	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	80.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	80.9	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	60.3	55.3	59.8
B 書くこと	2	66.0	65.9	68.4
C 読むこと	3	74.5	70.1	70.7

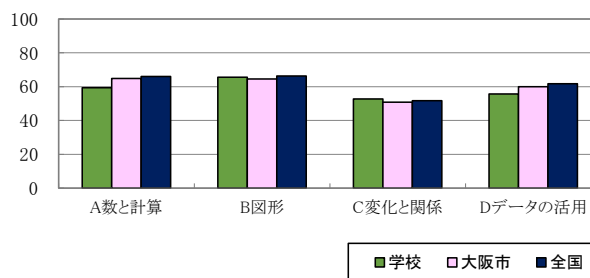
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	59.4	64.8	66.0
B 図形	4	65.6	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	52.8	50.8	51.7
D データの活用	4	55.7	60.0	61.8

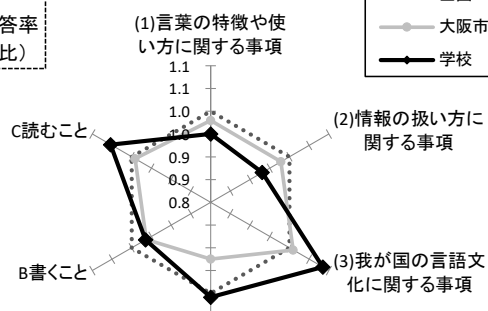
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



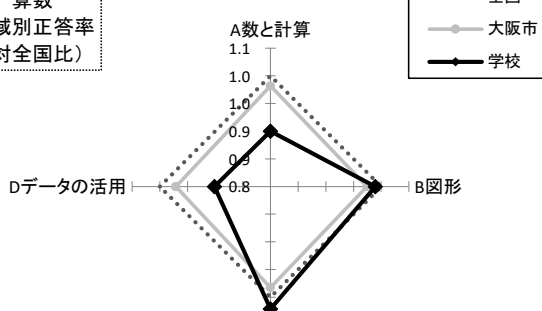
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



A話すこと・聞くこと

C変化と関係

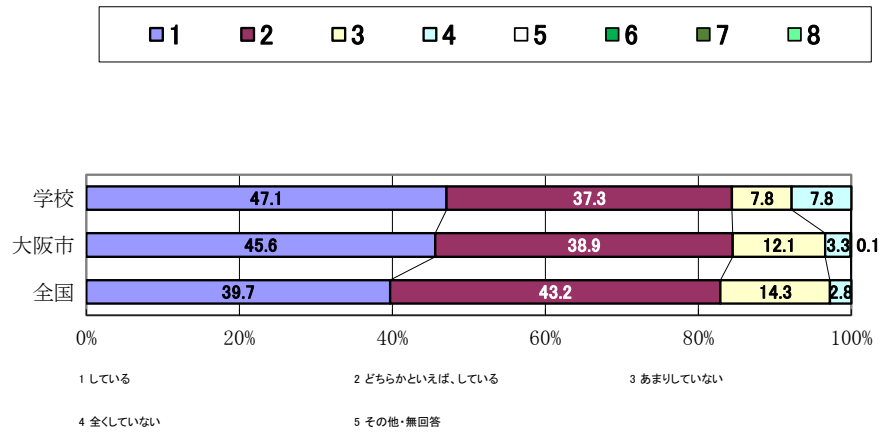
児童質問より

質問番号

質問事項

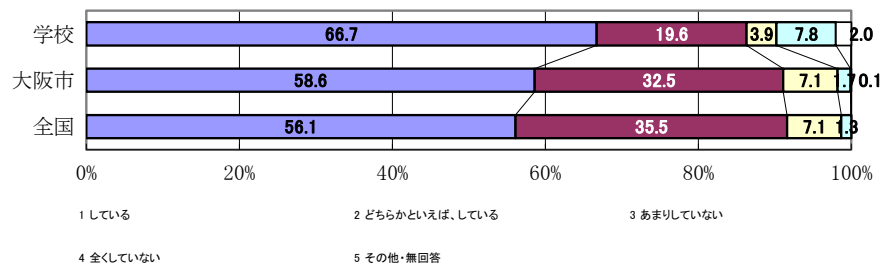
2

毎日、同じくらいの時刻に寝て
いますか



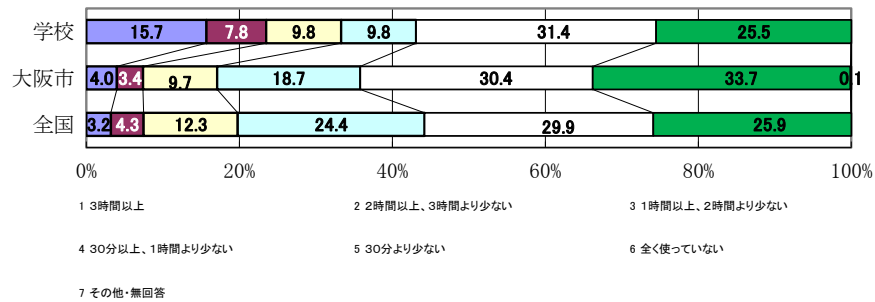
3

毎日、同じくらいの時刻に起き
ていますか



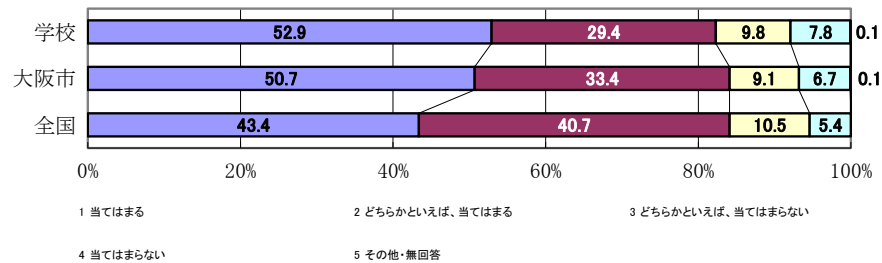
4

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、PC・タ
ブレットなどのICT機器を、勉
強のために使っていますか
(遊びなどの目的に使う時間
は除く)



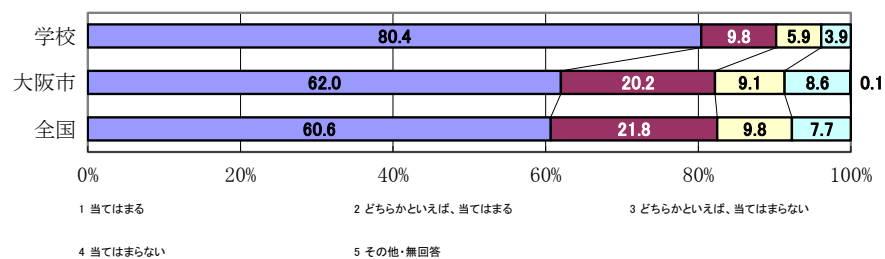
9

自分には、よいところがあると思
いますか



11

将来の夢や目標を持っています
か



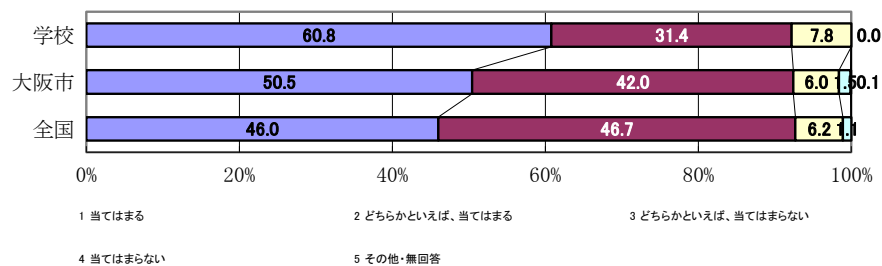
児童質問より

質問番号

質問事項

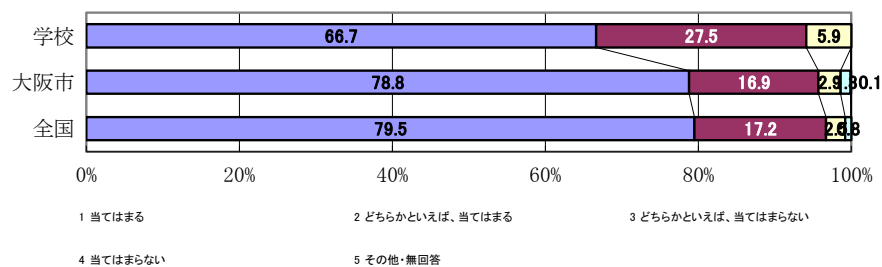
12

人が困っているときは、進んで
助けていますか



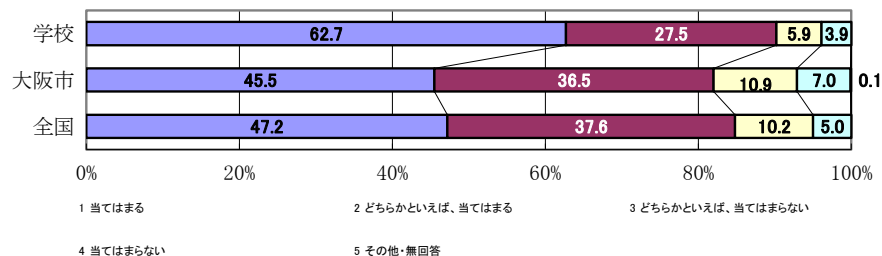
13

いじめは、どんな理由があつて
もいけないことだと思いますか



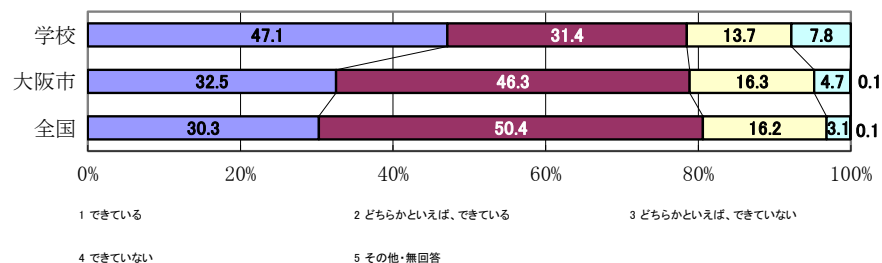
16

学校に行くのは楽しいと思っ
ていますか



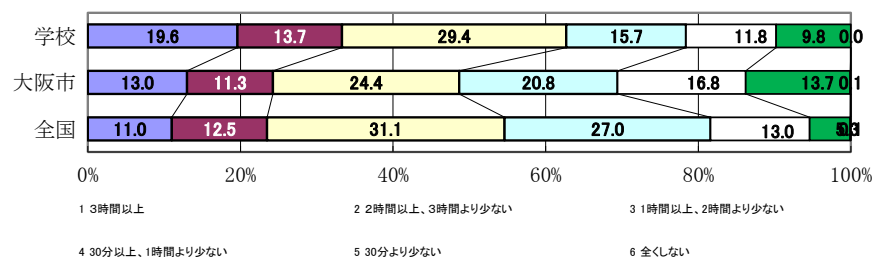
20

分からないことや詳しく知りた
いことがあったときに、自分で
学び方を考え、工夫することは
できていますか



21

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、勉強を
しますか(学習塾で勉強してい
る時間や家庭教師の先生に教
わっている時間、インターネッ
トを活用して学ぶ時間も含む)



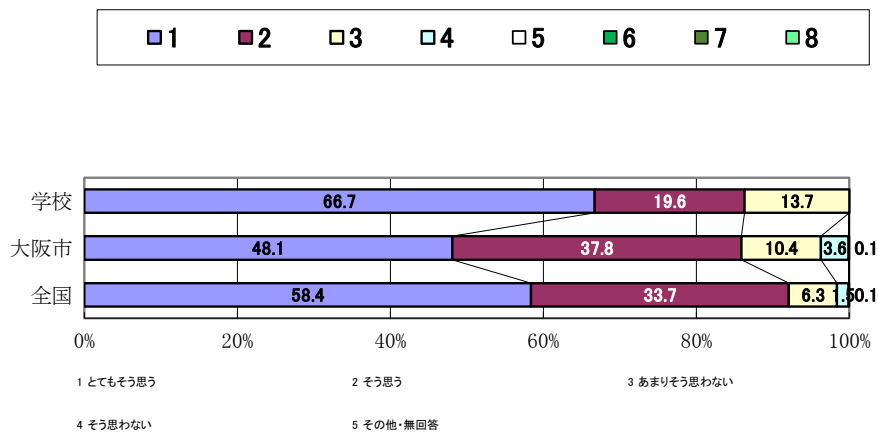
児童質問より

質問番号

質問事項

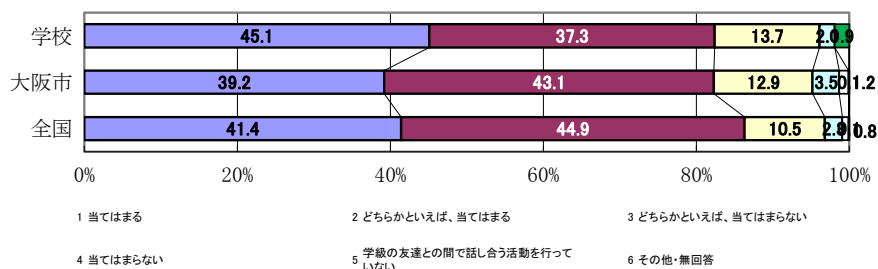
69

(5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる



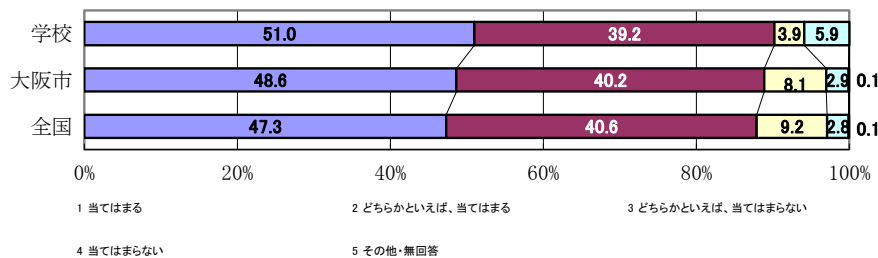
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



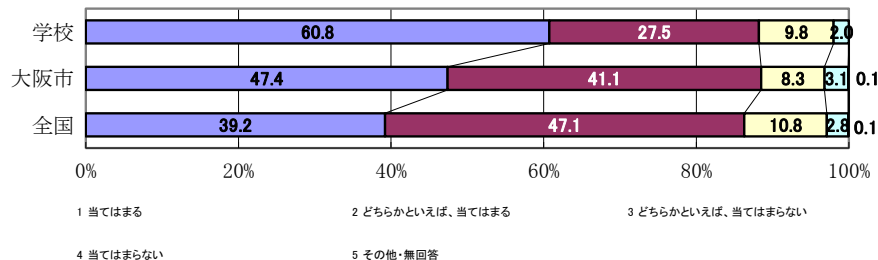
36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



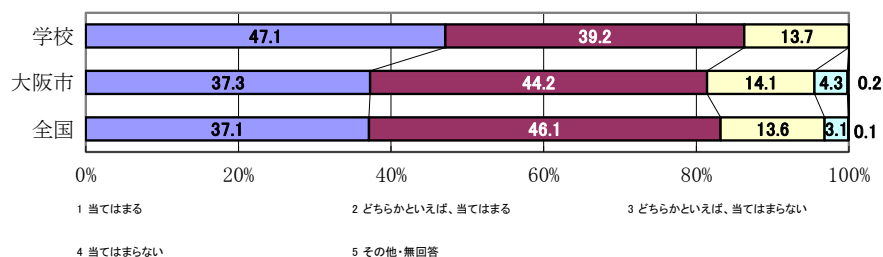
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



48

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか



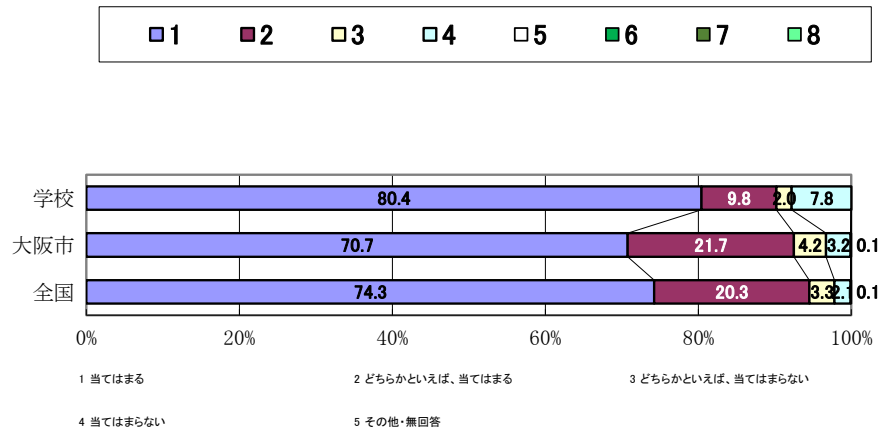
児童質問より

質問番号

質問事項

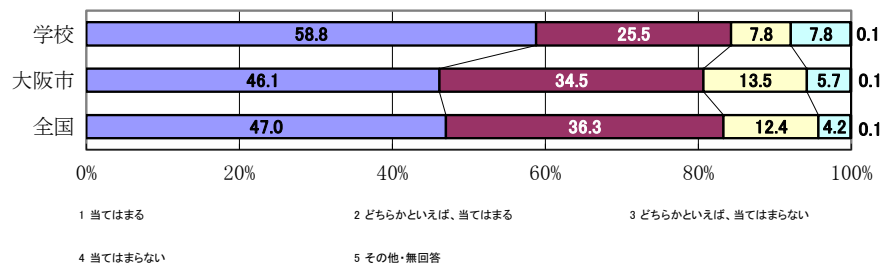
51

算数の勉強は大切だと思いますか



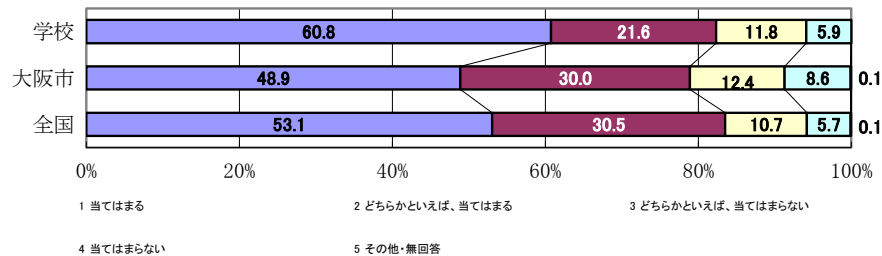
55

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



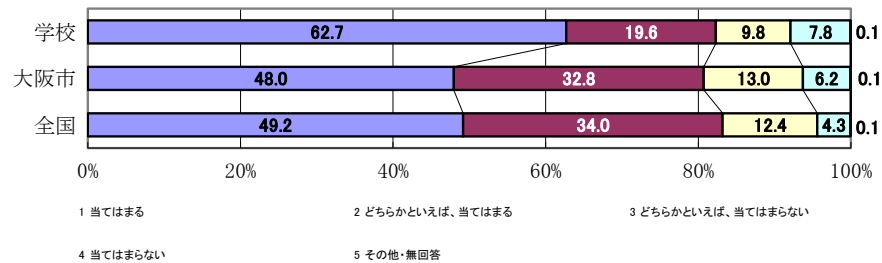
58

理科の勉強は好きですか



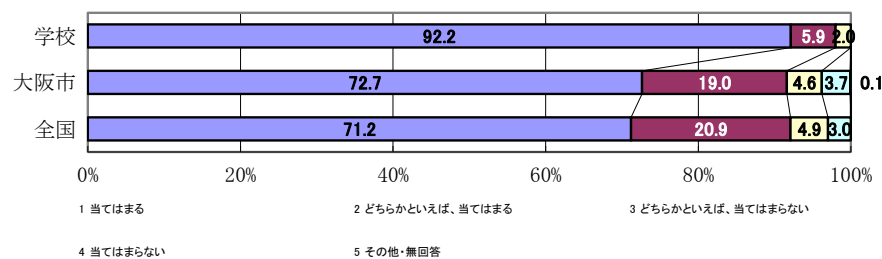
59

自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか



62

英語の勉強は大切だと思いますか



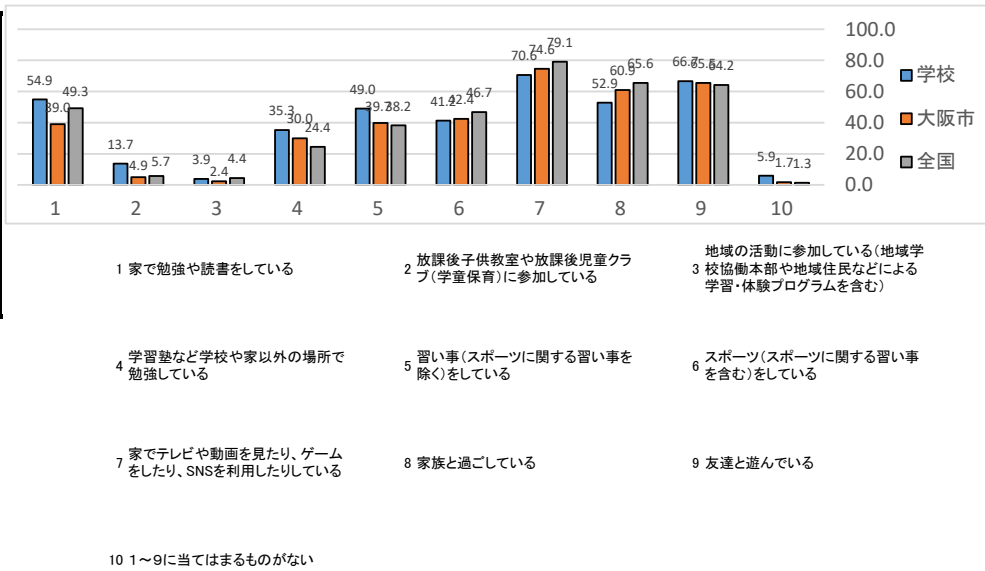
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

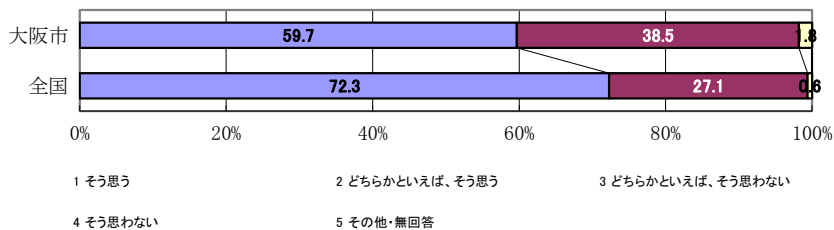
質問番号

質問事項

23

教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思いますか

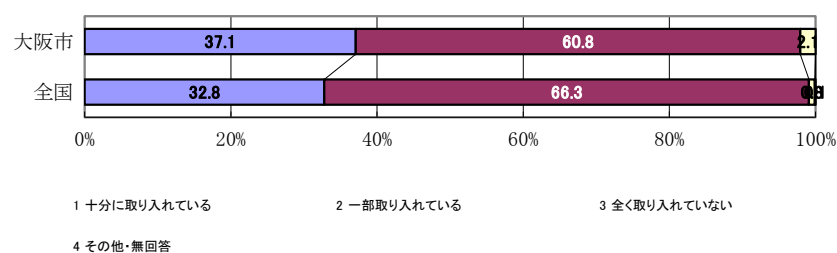
学校 「そう思う」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

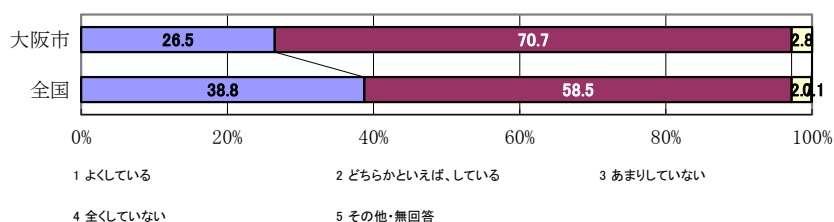
学校 「一部取り入れている」を選択



12

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

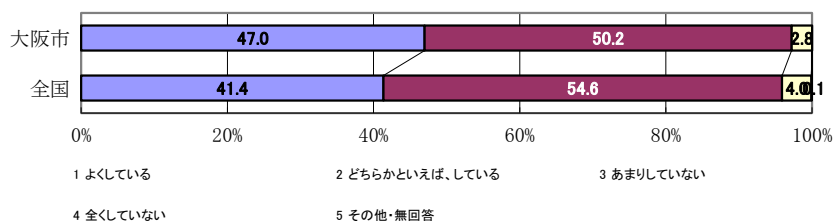
学校 「よくしている」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

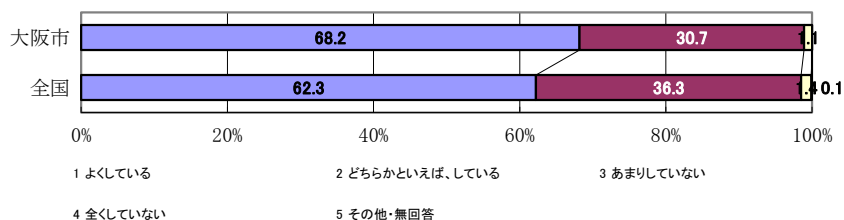
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



学校質問より

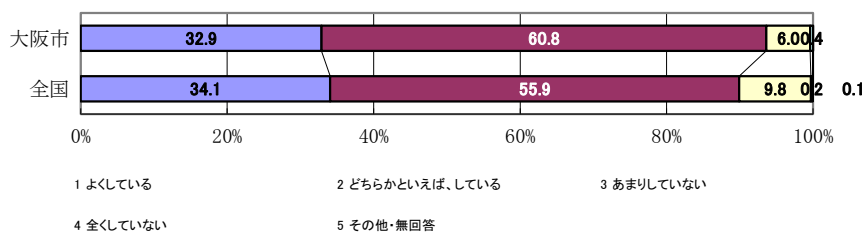
質問番号

質問事項

17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

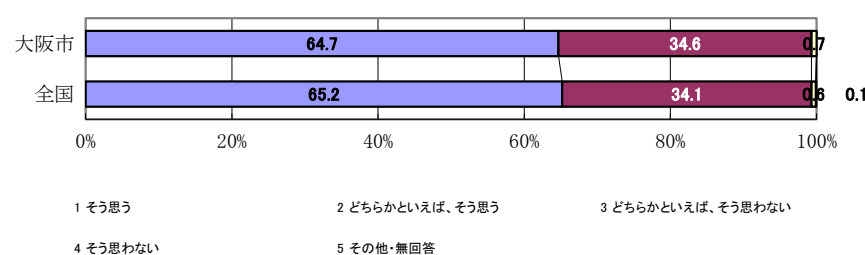
学校 「よくしている」を選択



20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

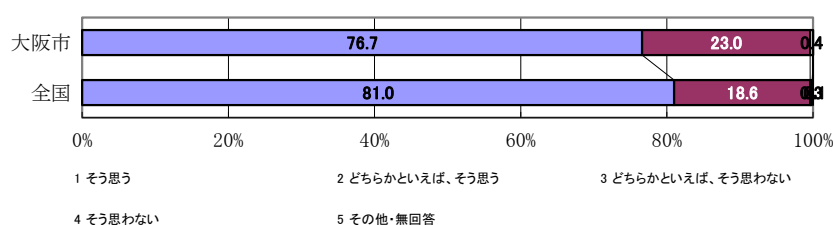
学校 「そう思う」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

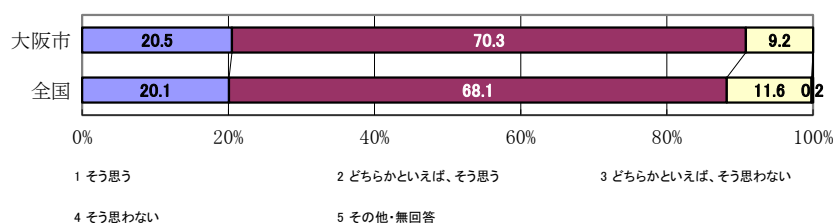
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

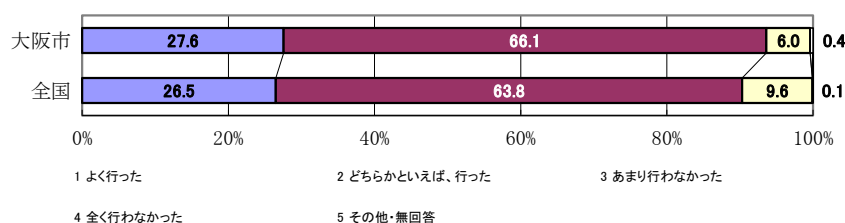
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問より

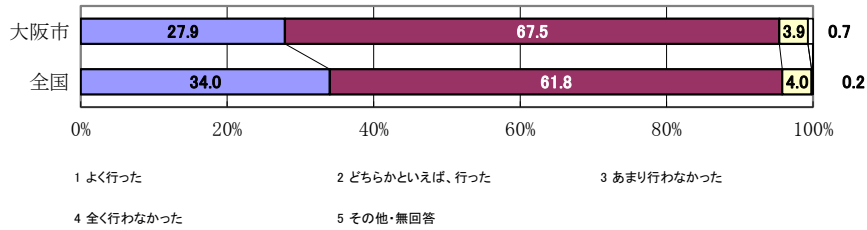
質問番号

質問事項

32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

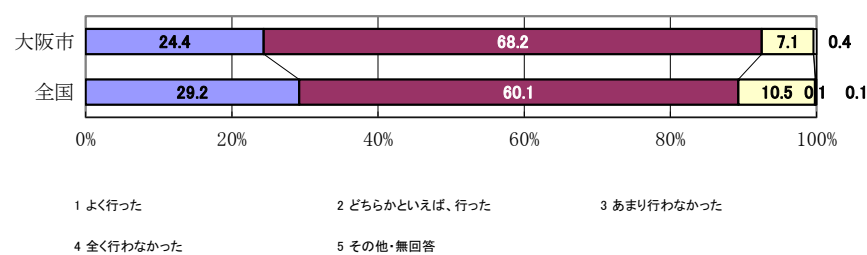
学校 「よく行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

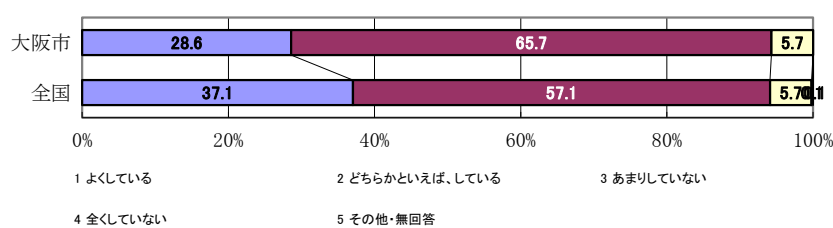
学校 「よく行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるように指導を行っていますか

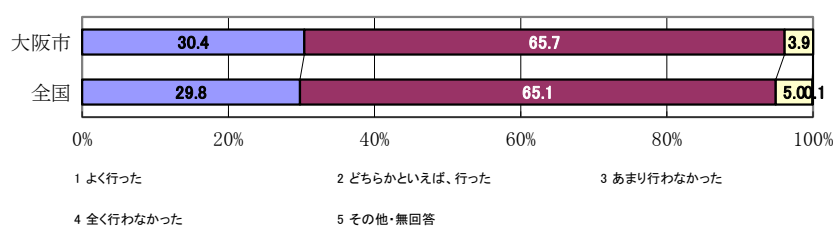
学校 「よくしている」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

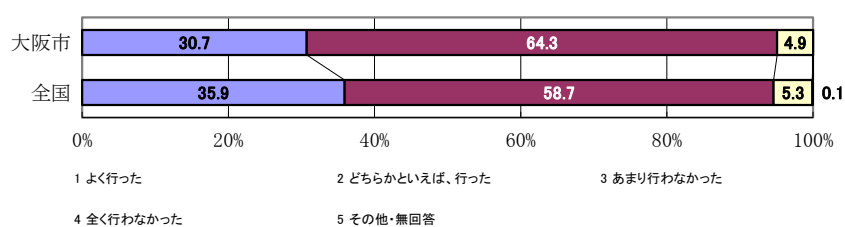
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問より

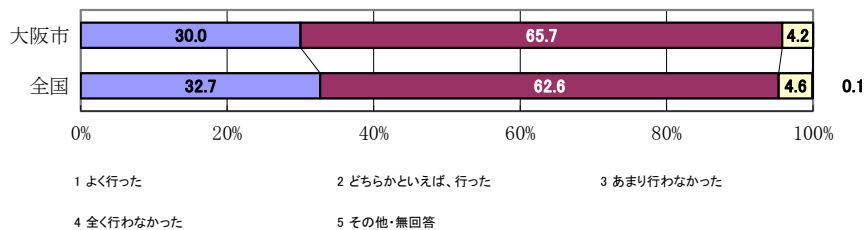
質問番号

質問事項

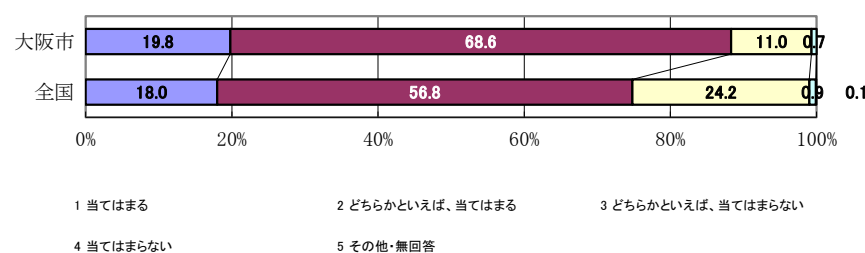
49

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



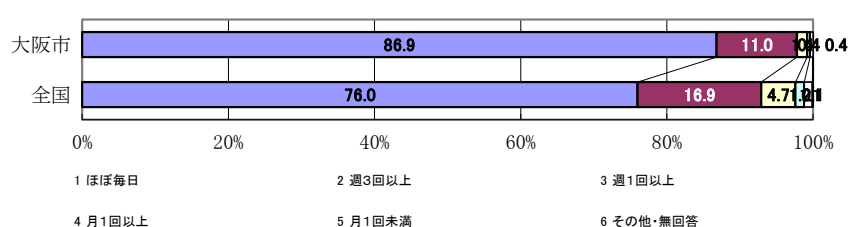
学校 「当てはまる」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

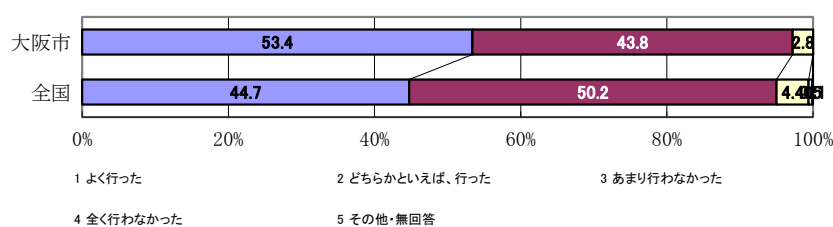
学校 「ほぼ毎日」を選択



67

学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)をどの程度行いましたか

学校 「よく行った」を選択



72

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

